

# 第52期 事業報告書

平成15年3月1日～平成16年2月29日



つねに変わり続けるマルエツ  
すべては、お客様ひとりひとりの笑顔のために

# Maruetsu

## 株主の皆さまへ



株主の皆さまにおかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃は多大なるご支援をいただきまして、厚く御礼申し上げます。

ここに、第52期事業報告書をお届けするにあたり、ひと言ご挨拶申し上げます。

当期のわが国経済は、米国経済の回復による輸出の伸びと製造業を中心とした設備投資の伸びを背景に緩やかな底離れの局面を迎えていましたが、個人消費については、雇用不安や年金問題、社会保険料の負担増等、将来の生活不安が懸念され、依然として厳しい状況が続きました。

このような状況のなかで、当社は“For the Customers”の経営理念のもと、常にお客様の視点で考え行動し、地域の生活者に愛され、信頼される『地縁ストア』づくりをめざしてまいりました。

連結子会社におきましては、サンデーマート株式会社と株式会社すえひろの経営効率の改善と、事業規模の拡大を目的として、平成15年12月1日付でサンデーマート株式会社を存続会社として、合併いたしました。

なお、当期の利益配当金につきましては、当初計画通り期末6円とし、年間12円とさせていただきます。

今後の見通しにつきましては、個人消費の回復の兆しが一部に見受けられますが、小売業界の経営環境は、楽観できる状況とは言えません。このような状況のもと、当社は、平成17年に迎える創業60周年に向けて、「食卓に笑顔とどけるコミュニケーション テーブルルネッサンス21」の取組みを「商品づくり」「人づくり」「店づくり」「サービスづくり」「情報発信」そして「お客様との2Wayコミュニケーション」の6つのソリューションを通じて具現化するとともに、引き続き地域社会の食・生活面のライフラインとして「健康」「安心・安全」「環境」をキーワードに、お客様のさまざまなニーズにお応えしてまいりたいと存じます。

また、連結子会社におきましても、営業基盤の拡大を図り、グループ一丸となって“For the Customers”の理念のもと、マルエツグループの収益力の向上に取り組む所存でございます。

株主の皆さまには、引き続きご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年5月

代表取締役社長

太田 清徳

## 新しい発見のある店づくり。 売場、サービスもお客様の変化とともに。

当社は、新規に10店舗を開設し、17店舗の全面改装を行いました。  
また、ライフスタイルの変化に対応して、13店舗の深夜営業店舗の拡大を行うなど、  
様々なお客様のニーズにお応えする店づくりを進め、新たなお客様との出会いを広げ、  
営業基盤の拡大に努めてまいりました。

### マルエツ



佐知川店（さいたま市西区）

### フーデックスプレス



高田馬場店（東京都新宿区）

## グループ企業

### サンデーマート



田名店（神奈川県相模原市）

### ポロロッカ



白金台店（東京都港区）

#### サンデーマート株式会社

■所在地 埼玉県蕨市中央3丁目22番30号  
店舗数 25店舗  
住宅地を中心に展開するスーパーマーケット

#### 株式会社マルエツ開発

■所在地 神奈川県横浜市港北区綱島西1丁目4番28号  
不動産管理、店舗開発業務

#### 株式会社クローバ商事

■所在地 東京都豊島区東池袋5丁目51番12号  
商品開発、販売業務

#### 株式会社日本流通未来教育センター

■所在地 埼玉県蕨市中央3丁目22番30号  
教育事業

#### 株式会社ポロロッカ

■所在地 東京都新宿区市谷田町1丁目14番1号  
店舗数 47店舗  
都市型スーパーマーケット

#### 株式会社メッカ

■所在地 東京都大田区大森西3丁目31番8号  
スポーツ機器販売

#### 株式会社マーノ

■所在地 東京都豊島区東池袋5丁目51番12号  
ノーマライゼーションを理念に  
事務サービス業を代行する特例子会社

グループ総店舗数 279店

（平成16年2月29日現在）

# 食卓に笑顔とどけるコミュニケーション テーブルルネッサンス21



## 商品づくり

お客様のニーズに対応した素材やおいしさにこだわった『FOODeX』（食品）や、快適さ・環境にこだわった『HOMEeX』（日用品）商品の開発や電子レンジメニュー商品の「シェフタイム」「楽々食彩」などの開発を通じて食・生活面の提案を進めています。

## “テーブルルネ 6つのソリ

めざすはオ

## 店づくり



人にやさしい買物空間の提供と買物しやすい店づくりをモットーに、居心地のよいレストスペースづくり、イートインスペースの導入やおいしい水の自動販売機・製氷機の導入を実施しています。



## 情報発信



旬の食材や話題の商品などを調理をしながら献立のご提案や食べ方・作り方をご紹介する「キッチンいーとびあ」の設置、食卓メニューを提案する小冊子の新規発刊や情報誌「くらし方録（かたろぐ）」等により食・生活情報を活発に発信しています。

私たちにできること。それは「食卓」を通じてお客様に「しあわせ」を感じてもらうこと。  
 私たちは、もう一度“お客様の笑顔”という小売業の原点に立ち戻り、平成17年の創業60周年をひとつの節目と考え、  
 『食卓に笑顔とどけるコミュニケーション テーブルルネッサンス21』の取り組みを昨年9月より進めております。  
 商品などのモノの情報だけでなく、家庭の「食卓」全般に関わる、またご家族の笑顔が広がる提案をお届けするなど  
 お客様とのふれあいに、どんどん挑戦してまいります。

## 人づくり



お客様に満足していただける商品案内ができるお酒やチーズの「コンシェルジュ」の育成や、おもてなしの心を持った人づくりとして、サービス介助士の育成と配置拡大をしています。  
 また、「食品衛生管理者」などの資格保有者を拡大し、コンプライアンスを徹底しています。

## サービスづくり



サービスカウンターに椅子を設置し、座ってゆったりお買物ができる「ふれあいカウンター」の設置、お客様のご要望に応じて、お魚の調理加工を承るコーナーの設置などお買物、暮らしのサポート機能の充実を目指しています。また、ATMの導入、宅配サービスの拡大やEdy（エディ）カードの導入など生活向上型サービスの導入と新しい販売スタイルの提供も進めています。

## 2Wayコミュニケーション

お客様の声をダイレクトに売場の改善や従業員教育に反映する「店長への直行便」の積極的な活用。  
 「ちびっこ健康マラソン」や「地曳網大会」「工場見学ツアー」の取り組みを通して、店舗とお客様の2Wayコミュニケーションを進めています。



『テーブルルネッサンス21』の  
 ユーション

ルール5の店





# 商品づくり



## 品質重視のこだわり オリジナルブランド開発

「より良質のものを」、「環境に配慮したものを」というお客様の多様なニーズにお応えするために生まれた当社のオリジナルブランド「FOODeX」（食品）・「HOMEeX」（日用品）は現在合わせて280種類に増えました。

素材と製造方法のこだわりが、おいしさと快適さを提供します。

## これからも、もっと 安心・安全へのこだわり

トレーサビリティ（追跡可能性）に積極的に取り組み、「顔の見える商品」づくりをすすめていきます。

生産者情報、栽培記録、お客様の手に届くまでの経路を示す「育ちはっきり野菜」の品揃えや全店での「国産牛の個体識別番号表示」の取組みなど、お客様からの食に対する信頼づくりを大切にしています。



## 毎日の健康づくり応援

「Dr. 元気」マークを目印に、「特定保健用食品」や「サプリメント」などを一か所にコーナー化して、日々のお客様の健康で快適な暮らしを提案しています。

# 人づくり



## コンシェルジュの育成

お客様も商品を見極め、納得した商品を購入される時代。

提供する側も、お客様からのご質問、ご相談に応えられる接客が必要です。

お客様の満足のいく商品知識・情報提供・メニュー提案ができる人材を育てていきます。現在、酒とチーズの「コンシェルジュ」（商品案内人）が育っています。

## 店長の産地研修

青果の産地研修では、店長がみかんやレタス、ピーマン、なす、じゃがいもなどの契約産地にホームステイし、収穫から出荷までを体験し、お客様の生の声を生産者に伝えるとともに、生産者のこだわりや情熱を販売に活かしています。



## 生鮮技術教育

お魚やお肉など新鮮で質の高い商品を常に提供するために、社員もパートナーも共に日々生鮮技術の向上に努めています。



# 株式の状況 (平成16年2月29日現在)

## ■株主数

株主総数 6,073名  
単元株式所有株主数 4,349名

## ■名義書換状況

名義書換件数 189件  
名義書換株式数 2,932,583株

## ■大株主

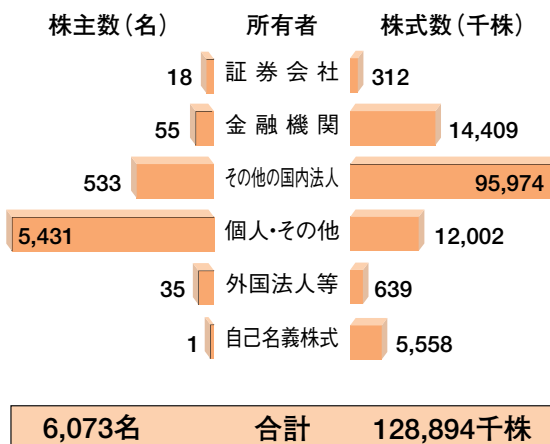
株主名	所有株式数 (千株)	議決権比率 (%)
株式会社ダイエー	46,423	37.92
丸紅フーズインベストメント株式会社	37,113	30.32
株式会社マルエツ	5,558	—
マルエツ従業員持株会	2,056	1.68
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	2,048	1.67
株式会社みずほコーポレート銀行	1,505	1.23
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	1,231	1.01
マルエツ共栄会	968	0.79
三洋電機株式会社	946	0.77
みずほ信託銀行株式会社	922	0.75

(注) 日本マスタートラスト信託銀行株式会社及び日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の所有株式数は、信託業務に係るものです。

## ■株式の総数

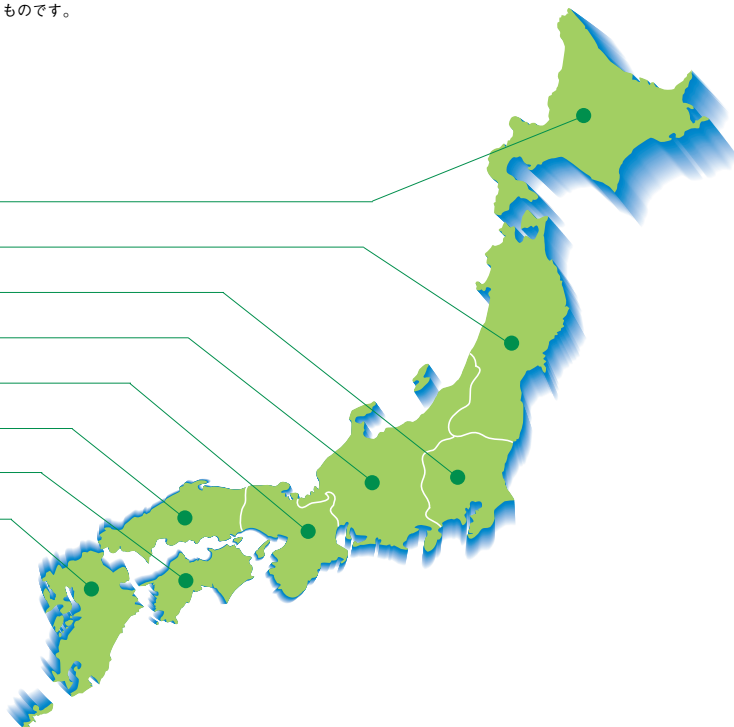
会社が発行する株式の総数 208,009,000株  
発行済株式総数 128,894,833株

## ■所有者別分布状況



## ■地域別分布状況

北海道	25千株	29名
東北	94千株	63名
関東	74,552千株	4,412名
中部	1,956千株	449名
近畿	51,190千株	786名
中国	332千株	112名
四国	178千株	75名
九州	206千株	122名
外国	361千株	25名



# 業績の推移・商品別売上高

## 業績の推移

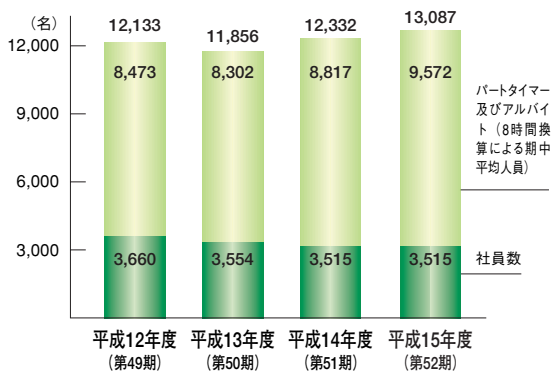
区 分	平成12年度 (第49期)	平成13年度 (第50期)	平成14年度 (第51期)	平成15年度 (第52期)
営業収益 (百万円)	314,131	314,184	326,202	332,060
経常利益 (百万円)	4,287	4,506	5,031	5,166
当期純利益 (百万円) (△は損失)	△5,514	1,660	1,219	1,563
1株当たり当期純利益 (円) (△は損失)	△42.78	12.88	9.66	12.66
総資産 (百万円)	152,820	155,665	154,764	158,239
純資産 (百万円)	79,815	78,325	77,580	78,206
1株当たり純資産 (円)	619.23	607.75	626.00	634.09

- (注) 1. 第49期営業年度は、投資有価証券評価損を特別損失に計上したことにより、当期純損失となっております。  
 2. 「1株当たり当期純利益」は、期中平均株式数によって算出しています。なお、第50期より期中平均株式数から自己株式を控除して算出しています。  
 3. 「1株当たり純資産」は、期末発行済株式総数によって算出しています。なお、第50期より期末発行済株式総数から自己株式を控除して算出しています。

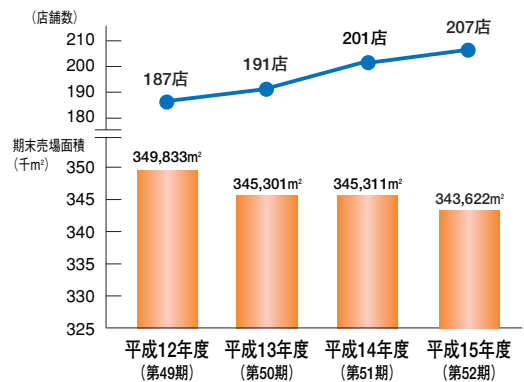
## 商品別売上高

区 分	金 額 (百万円)	構 成 比 (%)
青 果	40,609	12.4
鮮 魚	33,183	10.2
精 肉	31,586	9.7
生 鮮 食 品 計	105,379	32.3
惣菜・インスタアベーカーリー	31,000	9.5
日 配 食 品	67,813	20.8
一 般 食 品	90,438	27.7
加 工 食 品 計	189,252	58.0
食 品 計	294,632	90.3
日 用 雑 貨	15,987	4.9
衣 料・身 の 回 り 品 他	15,537	4.8
雑 貨 ・ 衣 料 計	31,525	9.7
合 計	326,157	100.0

## 従業員の推移



## 売場面積、店舗数の推移



# 決算の概要（連結）

## 連結貸借対照表

（単位 百万円）

科目	期別 当期 (平成16年2月29日現在)	期別 前期 (平成15年2月28日現在)	科目	期別 当期 (平成16年2月29日現在)	期別 前期 (平成15年2月28日現在)
<b>（資産の部）</b>			<b>（負債の部）</b>		
流動資産	34,504	32,067	流動負債	43,965	42,378
現金及び預金	7,019	9,373	買掛金	18,718	18,381
売掛金	1,235	1,200	短期借入金	5,300	12,454
たな卸資産	12,125	11,139	1年内償還予定社債	10,200	—
繰延税金資産	4,778	2,512	1年内返済予定長期借入金	2,361	3,392
その他の流動資産	9,346	7,841	未払法人税等	509	447
			その他の流動負債	6,875	7,703
固定資産	128,626	132,264	固定負債	47,157	49,178
有形固定資産	74,204	73,623	社債	10,000	10,220
建物及び構築物	38,042	37,725	長期借入金	28,393	30,359
車両運搬具	2	4	退職給付引当金	2,279	1,798
器具備品	3,563	3,208	預り保証金	6,286	6,392
土地	32,465	32,603	その他の固定負債	198	408
建設仮勘定	131	80	負債合計	91,123	91,557
無形固定資産	1,074	1,072	(少数株主持分)		
連結調整勘定	411	473	少数株主持分	—	—
その他の無形固定資産	663	599	(資本の部)		
投資その他の資産	53,347	57,568	資本金	37,549	37,549
投資有価証券	6,677	3,844	資本剰余金	35,776	35,776
長期貸付金	836	1,095	利益剰余金	155	2,213
差入保証金	40,343	42,314	その他有価証券評価差額金	1,287	△ 329
繰延税金資産	4,783	9,644	自己株式	△ 2,726	△ 2,434
その他の投資	938	961	資本合計	72,041	72,774
貸倒引当金	△ 231	△ 291			
繰延資産	33	—			
社債発行費	33	—			
<b>資産合計</b>	<b>163,165</b>	<b>164,331</b>	<b>負債・少数株主持分及び資本合計</b>	<b>163,165</b>	<b>164,331</b>

	当期	前期
(注) 1.有形固定資産の減価償却累計額	49,430百万円	48,118百万円
2.担保に供している資産		
定期預金	一百万円	128百万円
建物及び構築物	4,955百万円	6,133百万円
土地	12,898百万円	17,597百万円
差入保証金	307百万円	798百万円
投資有価証券	20百万円	20百万円
3.保証債務	3百万円	4百万円

連結損益計算書

(単位 百万円)

科目	期別	
	当期 (平成15年3月1日～ 平成16年2月29日)	前期 (平成14年3月1日～ 平成15年2月28日)
営業収益	364,446	370,921
売上高	358,121	364,463
売上原価	259,013	265,127
売上総利益	99,107	99,335
営業収入	6,324	6,458
営業総利益	105,432	105,793
販売費及び一般管理費	99,306	99,422
営業利益	6,125	6,371
営業外収益	683	613
受取利息及び配当金	415	431
その他の営業外収益	267	182
営業外費用	1,612	1,554
支払利息	744	768
社債利息	338	366
その他の営業外費用	529	420
経常利益	5,197	5,430
特別利益	534	2,116
新株予約権取得に伴う利益	408	—
投資有価証券売却益	125	—
固定資産信託受益権売却益	—	2,116
特別損失	2,686	4,566
退職給付費用	1,474	—
貸倒損失	317	—
固定資産除却損	272	366
役員退職慰労金	252	25
投資有価証券評価損	216	3,631
ゴルフ会員券評価損	—	331
その他	153	211
税金等調整前当期純利益	3,045	2,981
法人税、住民税及び事業税	509	464
法人税等調整額	1,484	1,338
少数株主利益(損失△)	—	△ 22
当期純利益	1,051	1,200

(注) 連結貸借対照表、連結損益計算書、連結剰余金計算書及び連結キャッシュ・フロー計算書の記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

(会計方針の変更)

当連結会計年度から「1株当り当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成14年9月25日企業会計基準第2号)及び「1株当り当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成14年9月25日企業会計基準適用指針第4号)を適用しています。この変更による影響はありません。

連結剰余金計算書

(単位 百万円)

科目	期別	
	当期 (平成15年3月1日～ 平成16年2月29日)	前期 (平成14年3月1日～ 平成15年2月28日)
資本剰余金の部		
資本剰余金期首残高	35,776	35,776
資本剰余金増加高	0	—
自己株式処分差益	0	—
資本剰余金期末残高	35,776	35,776
利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高	2,213	1,816
利益剰余金増加高	(1,051)	(1,200)
当期純利益	1,051	1,200
利益剰余金減少高	(3,109)	(804)
配当金	2,227	773
役員賞与	35	31
連結子会社合併に伴う剰余金減少額	847	—
利益剰余金期末残高	155	2,213

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

科目	期別	
	当期 (平成15年3月1日～ 平成16年2月29日)	前期 (平成14年3月1日～ 平成15年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,163	7,823
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,597	△ 2,503
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,750	△ 6,124
現金及び現金同等物の増減額	△ 2,184	△ 804
現金及び現金同等物期首残高	9,204	10,008
現金及び現金同等物期末残高	7,019	9,204

〈連結の範囲に関する事項〉

連結子会社数……7社  
 主要会社名……サンデーマート(株)  
 (株)ポロロッカ  
 (株)マルエツ開発  
 (株)メッカ  
 (株)すえひろは、平成15年12月1日付でサンデーマート(株)を存続会社として合併したため、損益計算書のみ連結しています。  
 持分法適用会社数…1社  
 (株)日本流通未来教育センター

# 決算の概要（単体）

## 貸借対照表

（単位 百万円）

科目	期別 当期 (平成16年2月29日現在)	期別 前期 (平成15年2月28日現在)	科目	期別 当期 (平成16年2月29日現在)	期別 前期 (平成15年2月28日現在)
<b>（資産の部）</b>			<b>（負債の部）</b>		
流動資産	38,665	34,122	流動負債	39,679	36,708
現金及び預金	5,749	8,117	買掛金	16,993	16,082
売掛金	3,757	2,109	短期借入金	4,700	11,162
商品	10,709	9,613	1年内償還予定社債	10,000	—
貯蔵品	36	21	1年内返済予定長期借入金	1,668	2,444
前払費用	1,429	1,514	未払金	962	774
繰延税金資産	4,708	2,452	未払法人税等	354	340
短期貸付金	4,880	4,778	未払消費税等	532	620
未収入金	4,640	3,647	未払費用	3,430	3,622
その他の流動資産	2,753	1,866	預り金	474	385
			その他の流動負債	562	1,274
固定資産	119,541	120,642	固定負債	40,353	40,475
有形固定資産	59,404	57,993	社債	10,000	10,000
建物	30,239	29,341	長期借入金	22,512	22,821
構築物	1,292	1,251	退職給付引当金	2,094	1,685
車両運搬具	2	2	預り保証金	5,746	5,968
器具備品	3,064	2,680	負債合計	80,032	77,183
土地	24,684	24,644			
建設仮勘定	121	72	<b>（資本の部）</b>		
無形固定資産	605	517	資本金	37,549	37,549
借地権	20	20	資本剰余金	35,776	35,776
その他の無形固定資産	584	497	資本準備金	18,776	18,776
投資その他の資産	59,531	62,131	その他資本剰余金	17,000	17,000
投資有価証券	2,721	1,869	資本及び資本準備金減少差益	17,000	17,000
関係会社株式	9,875	6,397	自己株式処分差益	0	—
長期貸付金	3,845	4,130	利益剰余金	6,320	7,018
差入保証金	39,019	40,567	任意積立金	1,079	1,079
長期前払費用	130	147	当期末処分利益	5,240	5,939
繰延税金資産	3,482	8,643	その他有価証券評価差額金	1,287	△ 329
その他の投資その他の資産	688	665	自己株式	△ 2,726	△ 2,434
貸倒引当金	△ 231	△ 291	資本合計	78,206	77,580
繰延資産	33	—			
社債発行費	33	—			
<b>資産合計</b>	<b>158,239</b>	<b>154,764</b>	<b>負債・資本合計</b>	<b>158,239</b>	<b>154,764</b>

	当期	前期
(注) 1.子会社に対する短期金銭債権	7,584百万円	6,013百万円
2.子会社に対する長期金銭債権	5,215百万円	5,639百万円
3.子会社に対する短期金銭債務	270百万円	302百万円
4.子会社に対する長期金銭債務	18百万円	14百万円
5.有形固定資産の減価償却累計額	44,961百万円	43,980百万円
6.担保に供している資産		
定期預金	—百万円	20百万円
建物	3,268百万円	3,088百万円
土地	10,546百万円	8,229百万円
投資有価証券	9百万円	9百万円
7.保証債務	5,299百万円	6,600百万円
8.当期、前期とも、貸借対照表に計上した固定資産のほか、主に陳列什器、電子計算機一式及びその周辺機器他をリース契約により使用しています。		

損益計算書

(単位 百万円)

科目	期別	
	当期 (平成15年3月1日～ 平成16年2月29日)	前期 (平成14年3月1日～ 平成15年2月28日)
営業収益	332,060	326,202
売上高	326,157	320,390
売上原価	241,314	236,249
売上総利益	84,842	84,140
営業収入	5,903	5,812
営業総利益	90,746	89,952
販売費及び一般管理費	84,984	84,277
営業利益	5,761	5,675
営業外収益	787	685
受取利息及び配当金	612	613
その他の営業外収益	174	72
営業外費用	1,382	1,330
支払利息	560	531
社債利息	334	366
その他の営業外費用	487	432
経常利益	5,166	5,031
特別利益	534	2,116
新株予約権取得に伴う利益	408	—
投資有価証券売却益	125	—
固定資産信託受益権売却益	—	2,116
特別損失	2,033	4,273
退職給付費用	1,474	—
投資有価証券評価損	216	3,631
役員退職慰労金	195	22
固定資産除却損	146	289
ゴルフ会員権評価損	—	330
税引前当期純利益	3,667	2,873
法人税、住民税及び事業税	309	340
法人税等調整額	1,795	1,312
当期純利益	1,563	1,219
前期繰越利益	4,417	1,170
利益準備金取崩額	—	3,549
中間配当額	740	—
当期末処分利益	5,240	5,939

利益処分

(単位 百万円)

科目	期別	
	当期 (平成15年3月1日～ 平成16年2月29日)	前期 (平成14年3月1日～ 平成15年2月28日)
当期末処分利益	5,240	5,939
合計	5,240	5,939
これを次のとおり処分いたします。		
利益配当金	740	1,487
	(1株につき6円)	(1株につき12円)
役員賞与金	—	35
次期繰越利益	4,500	4,417

(注) 当期の年間配当金は、1株につき12円となります。

(注) 貸借対照表、損益計算書、利益処分の記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

	当期	前期
(注) 1.子会社との営業取引による取引高		
売上高	22,798百万円	14,253百万円
営業収入	148百万円	165百万円
販売費及び一般管理費	1,183百万円	1,082百万円
2.子会社との営業取引以外の取引高	725百万円	199百万円
3.1株当たり当期純利益	12円66銭	9円66銭

(会計方針の変更)

当期から「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成14年9月25日企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成14年9月25日 企業会計基準適用指針第4号)を適用しています。この変更による影響はありません。

# 店舗の状況



さらに広く、そして未来へ。

最新の店舗や新たな取り組みなど様々な情報を満載しております。ぜひご覧ください。

[マルエツホームページ](http://www.maruetsu.co.jp/)  
[iモード](http://www.maruetsu.co.jp/i/)  
[マルエツふれあいショッピング](http://www.rakuten.co.jp/maruetsu/)

<http://www.maruetsu.co.jp/>  
<http://www.maruetsu.co.jp/i/>  
<http://www.rakuten.co.jp/maruetsu/>

# 会社概要・役員一覧

## ■ 会社概要 (平成16年2月29日現在)

会社名 株式会社 **マルエツ**

設立 昭和27年6月

本社 〒170-8401 東京都豊島区東池袋5丁目51番12号

電話 (03) 3590-1110 (代表)

資本金 37,549,514,941円

従業員数 13,087名

[パートタイマー9,572名を含む (1日8時間換算による期中平均人員)]

## ■ 役員一覧 (平成16年5月27日現在)

代表取締役社長	太田清徳	取締役	小林正
取締役副社長	山本英勝	取締役	佐々木剛
専務取締役	谷口義博	取締役	小林豊
専務取締役	中務和樹	取締役	東野亨
専務取締役	中浩二	取締役	池浦喜光
常務取締役	佐藤徹郎	取締役	野口公一
常務取締役	緒方雄介		
取締役	小澤信夫	常勤監査役	原幸雄
取締役	高橋恵三	常勤監査役	遠藤時夫
取締役	古川茂樹	監査役	力丸哲雄
取締役	山成健史郎	監査役	小野寺弘孝



**お客様の健康と食文化を創造する  
「快適生活創造企業」をめざします。**

## 株 主 メ モ

- 決算期 毎年2月末日
  - 定時株主総会 毎年5月
  - 配当金及び中間配当金 配当金は毎年2月末日現在の株主に、また中間配当金を支払う場合は毎年8月31日現在の株主にそれぞれお支払いします。
  - 公告掲載新聞 日本経済新聞  
決算公告については、当社ホームページ  
(<http://www.maruetu.co.jp/kessan/index.html>) に  
掲載しております。
  - 上場証券取引所 東京証券取引所
  - 株式名義書換代理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社  
  
同事務取扱場所  
(郵便物送付先及び連絡先)  
〒135-8722  
東京都江東区佐賀一丁目17番7号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 03-5213-5213 (代表)
  - 同取次所  
みずほ信託銀行株式会社 全国各支店  
みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
- 専用ホームページの“お手続き内容”で一部届出用紙の出力ができます。  
<http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html>